

「能登半島、歩く旅シンポジウム」の開催について

今般、トレイルの認知度向上に向け、県文化観光大使・なすび氏をはじめとする歩く旅や能登の地域づくりに携わる方々を招き、能登の魅力や可能性を発信するシンポジウムを下記のとおり開催します。

記

1 開催日時

11月7日（土） 14時～17時

2 場所

いこいの村 能登半島 大会議室「志賀」

3 定員

100名（事前申込制・先着順）

4 プログラム

【第1部：基調講演】歩く旅の魅力と里山里海が紡ぐ復興の物語

- ・能登半島を歩いて感じた能登の魅力（なすび氏 ※聞き手：長谷川 晋氏）
- ・日本の歩く旅の魅力（シェルパ斉藤氏）
- ・歩く速度で出会う、「能登の里山里海」の魅力～暮らし・文化・自然～
（小山 明子氏）
- ・みちのく潮風トレイルと地域の復興（相澤 久美氏）

【第2部：トークセッション】歩く旅がもたらす能登の可能性

なすび氏/シェルパ斉藤氏/小山 明子氏/長谷川 晋氏
（進行：相澤 久美氏）

5 申 込

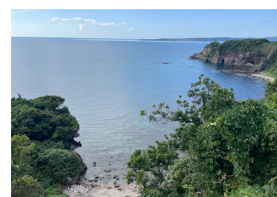
チラシ記載の二次元コードの申込みフォームからお申込みください。

能登半島、 歩く旅シンポジウム

2026/11/7(土)
14:00-17:00

能登の9市町を旅した
なすびさんと一緒に考える。
歩く速度だから見えてくる、
能登の魅力とこれからのこと。

海岸隆起などのジオ的な視点も取り入れながら、能登の豊かな自然や風土に触れ、魅力を体験することができる自然歩道を「のとSDGsトレイル(仮称)」として、地域住民や自治体、関係団体が連携して創設に向けた検討を進めています。震災によって現れた新たな地形や自然の姿は、地球の営みそのものを感じさせ、この土地を「歩く速度」で旅することで、能登半島の本来の魅力をより深く感じることができるはずです。



第1部

基調講演

歩く旅の魅力と里山里海が紡ぐ復興の物語

第2部

トークセッション

歩く旅がもたらす能登の可能性

場所

いこいの村 能登半島 大会議室「志賀」

〒925-0165 石川県羽咋郡志賀町志賀の郷温泉

定員

100名 [事前申込制・先着順]

申込締切

11月7日(土) 14:00

申込方法

右のQRコードからお申し込みください

参加
無料



能登半島、歩く旅シンポジウムについて

今年10月、石川県文化観光大使を務めるタレントのなすびさんが、能登半島の9市町を6日間かけて歩き、能登の文化や歴史、日々の暮らし、地域の営みを「歩く旅」を通して体感しました。さらに最後の2日間は、地域の皆さまと共に歩くハイキングイベントも開催されました。本シンポジウムでは、その旅の中でなすびさんが出会った能登の魅力を振り返るとともに、日本各地を旅してきたバックパッカー&紀行作家のシェルパ斉藤氏、能登で世界農業遺産の普及や生物多様性に関する活動に携わる小山明子氏をお迎えします。また、東北での道づくりを支える相澤久美氏、長距離ハイカーの長谷川晋氏を交え、「のとSDGsトレイル(仮称)」がこれからの地域にもたらす価値について、多様な視点からお話を伺います。震災を経験したこの土地で、地域の皆様が育んでいく道のこれからを、一緒に考えてみませんか？



プログラム | 13:30 開場 / 14:00 開会・主催者挨拶

第1部

14:10 基調講演: 歩く旅の魅力と里山里海が紡ぐ復興の物語

- ・能登半島を歩いて感じた能登の魅力 語り手: なすび 氏 / 聞き手: 長谷川 晋 氏
- ・日本の歩く旅の魅力 話題提供: シェルパ斉藤 氏
- ・歩く速度で出会う、「能登の里山里海」の魅力～暮らし・文化・自然～ 話題提供: 小山 明子 氏
- 15:45 ・みちのく潮風トレイルと地域の復興 話題提供: 相澤 久美 氏

第2部

15:55 トークセッション: 歩く旅がもたらす能登の可能性

- | | | | | |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------|
| 能登の魅力
なすび 氏 | 歩き旅の魅力
シェルパ斉藤 氏 | 能登の里山里海
小山 明子 氏 | 能登のトレイル
長谷川 晋 氏 | 進行: 相澤 久美 氏 |
| ・会場からの質問 | | | | |
| 16:55 | ・閉会 | | | |



なすび

タレント・俳優
石川県文化観光大使

『進め!電波少年』への出演で広く知られ、近年は全国各地のロングトレイルや長距離自然歩道を歩き、地域の自然や文化、人々の暮らしの魅力を発信する機会が増えている。能登半島地震後は継続的に能登でのボランティア活動に参加し、令和6年には石川県文化観光大使に就任。



シェルパ
さいとう
斉藤

バックパッカー/
紀行作家

国内外を徒歩や自転車で旅をしながら、自然や地域文化、人々との出会いを発信してきた、「歩く旅文化」を牽引する第一人者。長年にわたり旅の魅力を伝え、多くの旅人に影響を与えている。月刊誌BE-PALにアウトドアの旅の連載を36年以上続けており、『犬連れバックパッカー』『世界10大トレイル紀行』『遊歩見聞録』など、著作は30冊を超える。



こやま
さやこ
小山
明子

国連大学 サステナビリティ
高等研究所 いしかわ・かなざわ
オペレーティング・ユニット

国連大学にて世界農業遺産「能登の里山里海」の普及啓発や、生物多様性に関する活動に携わる。ストーリー仕立ての教材づくりや、生き物観察会などの環境学習の支援、大学生向けの教育プログラムなどを通じて、能登の豊かな自然や暮らしの価値を伝えている。震災後は、トークイベントなどを通じた能登の復興や地域の魅力の発信にも取り組んでいる。



はせがわ
しん
長谷川
晋

長距離ハイカー/
一般社団法人トレイルブレイズ
ハイキング研究所 所長

一般社団法人トレイルブレイズハイキング研究所代表。国内外のロングトレイルを数多く経験した長距離ハイカー。国内各地のロングトレイルにおいて、構想立案やルート調査・設計、基本計画の策定から持続可能な運営体制の構築まで多数のプロジェクトに携わる。



あいざわ
くみ
相澤
久美

認定NPO法人
みちのく潮風トレイル
アソシエーション 事務局長

東日本大震災後、東北沿岸で支援活動を実施。みちのく潮風トレイルは運営計画策定段階から関わり、現在運営の中心を担う。全国各地のロングトレイルの計画策定や運営体制の構築にも携わり、地域と共にある道づくりを支えている。